

災害食セッション2017

首都直下地震と企業の災害食

2017年12月8日(金) 入場無料(定員140名)

受付13:30 開演14:00 終演17:30

会場 お茶の水女子大学 本館306

住所 東京都文京区大塚2-1-1

挨拶: 門脇基二 (日本災害食学会会長)

第1部 講演会

基調講演: グローバルスタンダードの事業継続(BC)とは

一般財団法人DRIジャパン 理事長

長瀬貫隆

首都直下地震の想定と食の課題

一般財団法人都市防災研究所・上席研究員

守 茂昭

『BCP実行を支える災害食に関する実態調査』結果報告

お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系准教授

須藤紀子

企業の事業継続(BC)における災害食の必要性と普及について

東急ファシリティサービス 経営統括室 総務・BC推進課 課長

真城源学

第2部 検討会

講演者・参加者による討論

テーマ: 災害時に物流とサービスが途絶えた時を考える

-事業継続のための課題と対策-

座長: 別府茂 (日本災害食学会副会長)

お申込み: 日本災害食学会事務局 mail: office@telepac.jp

主催 日本災害食学会 後援 一般社団法人健康ビジネス協議会

日本災害食学会 JAPAN DISASTER FOOD SOCIETY

〒106-0032 東京都港区六本木7-8-5 藤和六本木コープII 901

NPO法人高度情報通信都市・計画シンクタンク会議 [TELEPAC]内

TEL 03-6434-0530

mail: office@telepac.jp (mailto:busybird@nippon.email.ne.jp)

<http://www.mmjp.or.jp/TELEPAC/d-food/>

